

滝沢市地域公共交通計画 の施策への取組み状況について



〈 第 1 7 回滝沢市地域公共交通会議 〉

令和 7 年 3 月 1 7 日（月） ビッグルーフ滝沢 大ホール

滝 沢 市
都市政策課

滝沢市 営業係長

ちやべもん



1 公共交通利用向上プロジェクト
〔施策1－2〕市内移動における利便性向上
②小さな交通需要に対応した交通サービスの検討



市地域内交通の検討（福祉バス及び患者輸送バスの再編）

現行の福祉バス・患者輸送バスは、利用者の減少や運行経費の増額のほか、バス運転士不足、運行ルート
の重複、長い乗車時間等の課題を抱えている。

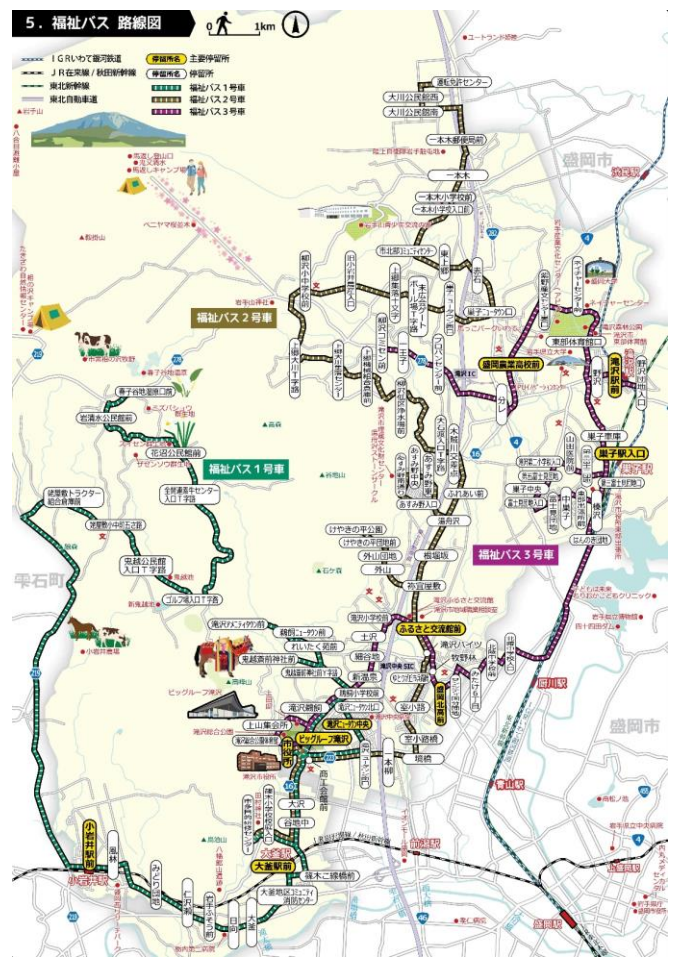
→市内の地域内交通を維持するため、限られた資源
を活用した効率的な運行となるよう、見直しが必要

- ・ 交通事業者（市内タクシー事業者・貸切バス事
業者、路線バス事業者）へのヒアリング
- ・ 庁内関係課との協議
- ・ 人口密度や乗降データの分析

福祉バスと患者輸送バスを統合し、運行ルート再編
（乗車時間の短縮）、運賃・ダイヤの検討を実施

詳細は議事（2）で報告します。

※令和6年度 地域公共交通活性化推進事業費補助金(県)を活用



▲現在運行している福祉バス路線図

1 公共交通利用向上プロジェクト

〔施策1－2〕市内移動における利便性向上

②小さな交通需要に対応した交通サービスの検討

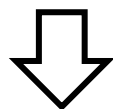


■小さな交通需要に対応した交通サービスの検討

滝沢市地域公共交通計画（平成29年策定）

基本目標1：新市の「まちづくり」を支える新たな交通網の形成

基本目標3：地域の特徴・特性に応じた交通サービスの提供



「公共交通の利便性向上プロジェクト」

施策1-2 市内移動における利便性向上

②小さな交通需要に対応した交通サービスの検討

小さな交通需要が分散する中山間地域において、誰でも安心して外出できる環境を確保するため、既存の交通資源を活用し、効率的な交通サービスの導入を検討する

➡柳沢・姥屋敷地区を対象に取り組みを進めてきた

滝沢市地域公共交通網形成計画



平成29年9月

滝沢市

1 公共交通利用向上プロジェクト

〔施策 1－2〕市内移動における利便性向上

②小さな交通需要に対応した交通サービスの検討



これまでの取り組み状況

～R3

既存の地域・交通の評価

R4

実証実験

移動ニーズの把握

R5～

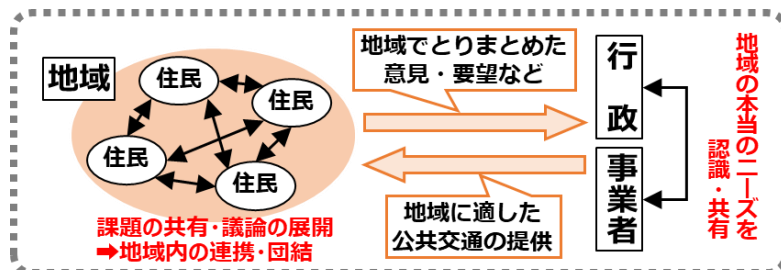
地域意識の醸成・地域のとりくみ活性化

地域組織の設置

サービス水準・運行案の検討

運行に向けた協議・調整

地域内交通の運行



令和4年度

・交通移動サービス実証実験

小需要地域における最大の移動需要を把握

利用者は限定的（各地区対象人口の2%）
利用者の移動が集中する頻度や時間帯があることから、
移動を効率化できる可能性あり ➡タクシーの相乗り

令和5年度

・地域住民との課題意識の共有

住民ワークショップの開催による住民意識の醸成
【柳沢地区】

住民代表者ヒアリングによる課題意識の共有
移動の課題に関するWebアンケート調査の実施

柳沢地区におけるアンケート結果

回答：33世帯／315世帯（約10%）

現状では困っていないが、将来的に移動に対する不安を抱えているとの意見あり

➡5年後、10年後には高齢者率6割超え
将来にわたって考えていく必要がある

1 公共交通利用向上プロジェクト

〔施策 1 - 2〕市内移動における利便性向上

②小さな交通需要に対応した交通サービスの検討



▶ 令和6年度の取り組み状況

将来的に移動の課題はあるが、現時点では困っていない・・・

➡モビリティ・マネジメントの推進が必要

※モビリティ・マネジメントとは・・・

「過度に自動車に頼る状態」から「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度（＝かしこく）に利用する状態」



柳沢地区住民代表者と意見交換会を実施

既存の交通サービスの使い方を認知してもらうことが必要、地域のつながりが大事

地域として課題を認識し、自ら行動することが大事であることを共有



▲住民代表者との意見交換

誰でも利用できる「福祉バス」を有効活用

地域みんなでお出かけする機会の創出



地域主体で「福祉バスツアー」を企画

1 公共交通利用向上プロジェクト

〔施策1－2〕市内移動における利便性向上

②小さな交通需要に対応した交通サービスの検討



・柳沢地区の取り組み（福祉バスツアー）

全4回を開催し、延べ30名参加

第1回	6月10日（月）	滝沢総合公園～ビッグルーフ（6名）
第2回	7月 5日（月）	はつらつ元気館～ビッグルーフ（11名）
第3回	9月30日（月）	複合商業施設monaka（11名）
第4回	11月25日（月）	居場所ほっこり参加（2名）

参加者からは・・・

「福祉バスに初めて乗った」、「数十年ぶりに鉄道に乗った」、「免許返納も考えたい」
「乗り方がわからなかった」、「経由地が多く、移動時間が長い」などの意見あり



▲地域で作成したチラシ



▲福祉バス利用の様子



▲はつらつ元気館で運動教室を体験



▲電車を乗り継ぎツアーを開催（第3回）

1 公共交通利用向上プロジェクト

〔施策 1 - 2〕市内移動における利便性向上

②小さな交通需要に対応した交通サービスの検討



・柳沢地区の取り組み（子ども会遠足、課外授業）

柳沢地区子ども会の夏休み行事で鉄道を利用した遠足を開催

令和6年8月4日（日） 児童 15名

「福祉バス」を活用した小学校の課外授業の実施

令和6年8月23日（金） 柳沢小学校1・2年生 6名

住民代表者が「福祉バス」の活用
を小学校へ提案して実現



▲子ども会で鉄道を利用した遠足を開催（IGR巢子駅）

▲「福祉バス」を利用した課外授業（柳沢小1・2年）

1 公共交通利用向上プロジェクト

〔施策 1－2〕市内移動における利便性向上

②小さな交通需要に対応した交通サービスの検討



▶ まとめ

関連した取り組み

- ・ 小需要地域等への配車についてタクシー事業者と意見交換
➡小需要地域を含めた市内への配車等について協議
運転士不足ではあるが、市内への配車は「予約」があればできる限り配車している
- ・ 生活支援体制整備事業（包括支援センター）における姥屋敷、柳沢地区の協議体を開催
➡生活支援コーディネーターと情報共有しながら、地域の方と移動に関する課題について意見交換
「地域のつながり」が重要（情報共有の難しさ、老人クラブ加入者の減少）
- ・ 自治会長研修会において「地域主体で取り組む移動支援（秋田県横手市狹半内地区）」の視察
➡36自治会中24自治会が研修会に参加し、活発な意見交換が行われた
狹半内共助運営体の活動に対して、高い関心が寄せられていた

姥屋敷地区：地域内で移動に課題を感じるものの、主体的な取り組みにつながらず

柳沢地区：地域主体の取り組みを実施

➡ツアーだけでなく、日常的にお出かけするような状態を目指す

姥屋敷・柳沢地区と情報共有を行いながら、必要な支援等を検討してまいります

2 公共交通の認知度向上プロジェクト

〔施策2-1〕情報発信による認知度向上

①公共交通の案内・情報発信ツールの作成



■「広報たきざわ」や「市ホームページ」による公共交通の情報発信

- ・市民の公共交通への関心を高めるため、市の「広報たきざわ」を活用し、公共交通に関するトピックスを掲載(6月、7月、8月号)
- ・ホームページでは「写真でみるニュース」などにイベントの様子を掲載

「広報たきざわ」 ぶらす+

小岩井駅を華やかに
ふうりん保育園児らが植栽

ふりん保育園の園児たちによる花壇の植栽が4月12日、小岩井駅前で行われました。これは、昨年度リニューアルした小岩井駅舎の管理を市から受託する小岩井自治会が企画したものです。観光の玄関口である小岩井駅を訪れる人々を笑顔で迎えることにも、今後小学校への通学で駅を利用することになる園児たちに、公共交通への関心を持ってもらうことを目的としています。

当日は約30人の園児たちが駅前の花壇を囲み、慣れない作業に苦戦しながらも、みんなに笑顔の花を植えました。植栽の終了後は、応援に駆けつけたやぐらとハイタッチを交わすなど、園児たちは終始笑顔で満足げな様子でした。

▲ 6月1日号 (小岩井駅活用)

**「チャグバス」装飾
馬コまでの1カ月間運行**

菓子保育園の園児21人が5月9日、馬コをモチーフに装飾した岩手県北バス「チャグバス」の装飾作業を実施しました。馬コ衣装に身を包んだ園児たちは、自らカラフルに色を塗った馬コの塗り絵や鈴のイラストなどの装飾品を楽しそうにバス内に飾り付けていました。当日は、市有馬「滝姫」が装束を着て登場。園児たちは、最初は怖がりつつも手を伸ばし、滝姫との触れ合いも楽しんでいました。

▲ 7月1日号 (チャグバス装飾)

滝沢市
TAKIZAWA CITY

ホーム > 写真で見るニュース > 園児が菓子駅を装飾～願いがかないますように

園児が菓子駅を装飾～願いがかないますように

ページID: 02953 更新日: 2024年07月02日

(令和6年7月2日掲載)

菓子保育園の園児らが6月25日、菓子駅の待合室で七夕装飾を実施しました。

これは、駅にぎわいづくりの一環としてI.G.Rいわて銀河鉄道株式会社毎年実施しているものです。

当日は同保育園の年長組20人が待合室に設置された大きな壁に「アイドルになれますように」「とうもろこしをいっぱい食べたい」など、それぞれの願い事を書いた短冊や装飾を貼りました。

この装飾は7月16日(火)まで見ることができます。

(たきざわ発信宣伝作成)

▲市HP「写真で見るニュース」(菓子駅七夕)

2 公共交通の認知度向上プロジェクト

〔施策2－1〕情報発信による認知度向上

①公共交通の案内・情報発信ツールの作成



■ 様々なイベントを通じての周知活動

- ・ 滝祭（8月24日）、おやこフェスタ（9月29日）、ふるさと交流館秋まつり（10月20日）でのPR活動、アンケート調査を実施。



▲ イベント展示 (PRブース)



▲ アンケート調査



▲ JRバス東北、みたけタクシーのご協力による車両展示等（おやこフェスタ）

2 公共交通の認知度向上プロジェクト

〔施策2－2〕イベント実施等による認知度向上

①児童・生徒等を対象とした乗り方教室等の開催



■ 鉄道安全教室の開催（東日本旅客鉄道(株)盛岡支社）

- ・ 通学のためJR田沢湖線（小岩井駅—大釜駅）を利用する小岩井地区の小学生に対し、小岩井駅無人化に伴う安全確保を目的として小岩井地区育成会が企画し、JR東日本盛岡支社主導のもと鉄道安全教室を実施。

日時：令和6年11月14日（木）14時～15時

会場：篠木小学校体育館

参加者：小岩井地区 91名（子ども83名、大人8名）



▲教室の様子



▲駅ホームでの注意事項、踏切通過体験、切符の買い方体験など



2 公共交通の認知度向上プロジェクト

〔施策2-2〕イベント実施等による認知度向上

②パッケージサービス・企画乗車券等の連携サービスの実施



■チャグバスの運行（岩手県北バス）

- 公共交通と密接な関係にある観光事業〔チャグチャグ馬コ〕とタイアップ。目に留まるデザインに装飾した「チャグバス」を期間限定で運行し、チャグチャグ馬コのPRと公共交通の利用促進を図る。今年度は巣子保育園園児による装飾を実施。（H30～R6年度 計6回開催）



▲装飾の様子



▲新聞、TV各社で報道

3 公共交通の環境改善プロジェクト

〔施策3-1〕交通拠点整備による利便性向上

①主要拠点の交通環境の強化・待合い環境の改善



■小岩井駅 駅舎管理・活用

- 令和5年12月より駅舎が市の所有となり、清掃等の業務を小岩井自治会に委託。令和6年度は地域主催によるお祭りや様々な教室（寺子屋・スマホ教室）が開催され、地域交流の場として駅舎を活用。



▲こいわいえきまつり（ジャズライブ・紙芝居）



▲盛岡大学生の企画による寺子屋



▲滝沢市地域活性化企業人によるスマホ教室 13

4 多様な主体と連携・協働プロジェクト

〔施策4-2〕協働・連携による体制づくり

①大学と連携した公共交通施策の展開



■会計年度職員（学生アルバイト）の雇用

- ・会計年度職員として学生アルバイトを雇用。岩手県立大学の学生1名が、令和6年6月～令和7年3月まで都市政策課に配属されている。公共交通関連の業務に従事。

■交通施設を利用したまちづくりへの参画

- ・県立大学生による法律・行政実習A（自治体が抱える課題とその解決について、学生が現場で学びながら考え、協力して調査を行い、政策提案をしていく授業）において、小岩井駅での世代間交流について取り組みを実施。

Taxi Information 

小岩井駅では、タクシーが常に待機しております。
駅前ロータリーにタクシーがない場合には、
以下の連絡先に配車を依頼してください。

There is no taxi being assigned at this station.
Please call phone numbers below to book a ride.
Do Not have SIM Card that can make call?
There is a Telephone KIOSK outside this building.
Service by Ride-hailing services except GO are NOT available. (M02/D10/Y2025)

(有) 宇石タクシー	Shizukuishi Taxi
019-692-3131	+81-19-692-3131
小川タクシー(株)	Kogawa Taxi
019-626-5062	+81-19-626-5062
(株) 太田タクシー	Ohta Taxi
019-659-0071	+81-19-659-0071
(有) 岩手ハイヤー	Iwate Hire Taxi
019-647-1670	+81-19-647-1670
(有) みたけタクシー	Mitake Taxi
019-641-4482	+81-19-641-4482

滝沢市 都市政策課
Takizawa City Division of Urban Policy



▲外国人向けタクシー案内
(学生アルバイト制作)

▲県立大学生による発表、掲示板を活用した世代間交流の実証実験

4 多様な主体と連携・協働プロジェクト

〔施策4-2〕協働・連携による体制づくり

②モビリティマネジメントの推進



市職員の盛岡方面への出張における路線バスの利用促進

- 平成30年11月から全庁での試験運用を実施。令和元年11月から本格運用としている。

市職員の盛岡方面への出張における路線バスの利用促進を行い、職員自らが公共交通の利用機会を創出するとともに、日常的な公共交通の利用につなげる。

（市民に対しての公共交通利用の啓発、環境への負担軽減なども同時に図る）



▲職員の内部情報システムからICカード利用予約可能

延べ利用人数：41人（41人）

【令和5年11月から令和6年10月までの1年間の実績〔（ ）内は前年同期間〕】

4 多様な主体と連携・協働プロジェクト

〔施策4-2〕協働・連携による体制づくり



③交通事業者のドライバー確保に向けた取り組みの実施

■バス運転士確保支援金

- 市内に営業所を有する路線バス事業者（岩手県交通(株)滝沢営業所）へ路線バス運転士確保支援金を給付することにより、路線バス運転士の雇用の促進及びバス路線の維持を図ることを目的として今年度より新たに実施。

【支援実績】

新規採用 5名（1名採用につき80万円を支援）

■陸上自衛隊岩手駐屯地でのバス運転士体験乗車

- バス運転士の確保のため、市と岩手県交通(株)及び陸上自衛隊岩手駐屯地と連携し、退職後の新たな就職先の候補となるよう、運転士体験及び説明会を開催。



▲岩手駐屯地での体験会の様子



■ 交通事業者を対象とした支援金等（物価高騰対応）

- ・ 市内に乗降可能なバス停留所を有する**乗合バス事業者**、市内に本社又は営業所を有する**貸切バス事業者**、盛岡交通圏を営業区域とする個人タクシーを含む**タクシー事業者**に対して、支援金を給付。
- ・ **IGRいわて銀河鉄道**に対して安定的な鉄道事業の運営を図るため、県及び沿線市町と共に令和5年度から令和9年度までに設備維持や車両本体の更新などに要する経費を支援。

【支援実績】

乗合バス事業者（3社）

貸切バス事業者（4社）

タクシー事業者（19社）

個人タクシー事業者（76名）

※令和6年度 地方創生臨時交付金(国)を活用

IGRいわて銀河鉄道

合計：31,051千円

今後の施策への取組



■ 令和7年度に実施を予定している主な取組

- ▶ 次期地域公共交通計画（盛岡都市圏）及び利便増進実施計画の策定
- ▶ 地域主体の公共交通維持に向けた取り組みの検討
- ▶ 地域内交通（福祉バス及び患者輸送車の再編）の検討
- ▶ チャグバスの運行【令和7年5～6月予定】
- ▶ 自衛隊岩手地方協力本部との連携によるバス運転手確保の対策
- ▶ 公共交通マップの更新（前回更新：令和5年度）
- ▶ 小岩井駅国有有形文化財登録を記念した利用促進イベントの開催
- ▶ 通学定期乗車券助成事業による支援（物価高騰対応）
- ▶ 交通事業者支援金（物価高騰対応）
- ▶ バス運転士確保支援金（支援対象を「市内を運行するバス事業者」）
- ▶ イベント・広報・市HPによる公共交通の情報発信

19